

1
「はれふい」(大衆九二八頁 山川菊栄氏)

山川菊栄氏はここに婦人運動の當面の劇辛過程に對しても非難ある

把戲を表明され同時に政治闘争の進展を拒否された氏はその劇辛

組織をも「不可能」としてまた必然に拒否されて居る、山中勉氏は甘

謂ふ「婦人の一時的特殊地位打破の運動は無産階級の立場より為

されねばならぬ運動であり、組合運動に於ては、この方針で進まねばなら

ぬことは議論の餘地はない」(大衆八月四一頁)

「社會」一般のふ多分に政治的意識を含んで無産婦人「結社」乃至婦人

の立場より一般社会的に過去の「一時的特殊地位を打破する運動が

斯る運動の主体である」(同八月)